

活動記録書

開催日： 令和4年11月3日(木) 天候 晴	開催テーマ： 悲運の御家人・梶原景時
開催場所： 鎌倉市	記入者： 横山美智男
参加人数： 会員 23名 ビジター 1名 計 24名	
<p>実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）： コース：湘南モノレール大船駅～湘南深沢駅～等覚寺（昇堂・拝観）～梶原一族の墓～御霊神社～仏行寺～源太塚～湘南深沢駅</p> <p>今年一番の秋晴れ、気温は 24℃まで上がり小春日和の探訪となった。湘南モノレール大船駅に集合、湘南深沢駅まで移動して、大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」の一人、梶原景時ゆかりの史跡を巡った。</p> <p>湘南深沢駅から数分歩くと等覚寺の山門が見える。等覚寺は初め御霊神社の近くに建てられたが、明治 6 年境内に訓蒙学舎(現深沢小学校)が建てられ現在の地に移された。創建は応永年間(1394～1428)、山号の休場山は景時がこの地を通った時ここで休んだからと言われている。昇堂し拝観。立派な内陣にはご本尊木像不動明王立像、木像虚空蔵菩薩、弘法大師坐像などが並ぶ。脇陣の出世子育て地藏尊は出生・出世にご利益があるとして知られ、壁には子供を授かった方の多数の写真が貼られていた。山門は茅葺の薬医門である。薬医門は屋根の中心の棟が前後の柱の中間よりやや前方に来る構造。名前の由来には、患者の出入りを楽にした医院の門という説もあるが、諸説あるようだ。境内には北条一族供養塔がある。州崎古戦場跡から出土した戦死者の供養塔で五輪塔、宝篋印塔などが祀られている。</p> <p>次は深沢小学校内にある梶原一族の墓へ。梶原景時の先祖である鎌倉権太夫景通が住み梶原氏発祥の地と考えられている。裏山のやぐらに梶原景時と嫡男影季ら 4 人の墓といわれる五輪塔が並んでいる。この墓は供養塔と思われるが材質や様式などから鎌倉時代のものとされる。梶原景時・影季ともに頼朝に仕え篤い信任を得ていたが、頼朝時代に御家人 66 人の「景時弾劾状」により鎌倉を追われる。上洛の途中、駿河の国で周辺の武士らに襲われ最後梶原山で自害した。</p> <p>深沢小学校を出て学校の周りをほぼ一周すると御霊神社に着く。梶原景時が建久元年(1190)再建整備したとされる。先祖である鎌倉権五郎影政を祀る。参道には明神鳥居が 2 基、狛犬は日露戦争凱旋記念として奉納されたもの。境内の五輪塔のうち一基に建武元年(1334)の銘がある。この文字だけ何故か明確に読み取れる。</p> <p>梶原地域から笛田地域に歩いていく途中に、稲刈りを済ました田圃があった。最近では田圃を見ることが自体が貴重な体験である。さらに歩き仏行寺へ到着。ここの山門も薬医門である。鎌倉を父景時とともに追われた梶原源太影季は駿河の国で自害した。悲しんだ妻の信夫もこのあたりで自害した。村人は霊を慰めるためにこの地に仏行寺を建てたと伝わる。本堂裏に庭園があり裏山に続く 190 数段の階段を上ると円墳状の源太塚がある。源太影季の片腕が埋められているという。妻のしのぶ塚も源太塚と向かい合っていたが、土地造成のため鎌倉山のバス停近くに移された。</p> <p>悲運の御家人・梶原影時は石橋山の戦いで源頼朝の窮地を救ったとされる。御家人に取り立てられ侍所別当などを務める。一方で当時の東国武士には珍しく教養があり、和歌を好み、都の貴族との係りもあった。頼朝の寵臣として権勢を振るったが、頼朝の死後に追放され一族とともに滅ぼされた。かつては、源義経と対立し讒言によって人を陥れる悪人イメージを持たれていた。しかし近年は、教養があり、主君に忠実で事務能力に優れた官僚的人物との評価が定着しつつあるようだ。</p>	
参加者の状況・意見など 天候にも恵まれ絶好の探訪となった。今日 2 名の新会員が初参加した。今年度の新入会員は既に 6 名、大河ドラマの影響だろうがやはり鎌倉の人気は高い。	
次回の予定： テーマ 「頼朝と鎌倉歴史文化交流館」 令和 4 年 12 月 1 日 (木) 10 時 鎌倉駅西口時計台広場集合	